

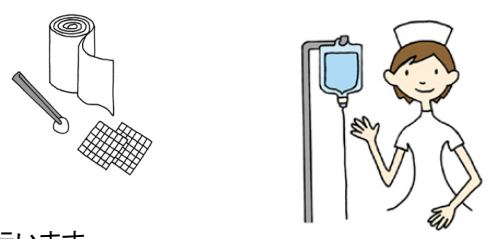

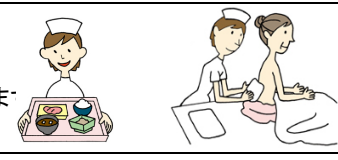

開心術 を受けられた患者様へ

患者様用

患者氏名 : @PATIENTNAME 様

受持医署名 :

担当看護師/在宅復帰支援担当者名:

月日(日時)	/	/	/	/	/
経過(病日等)	ICU退室1日目(術後 日目)	ICU退室2日目	ICU退室3日目	ICU退室4日目	ICU退室5日目
達成目標	◇循環動態が安定している ◇ドレーンからの出血がない ◇創痛がコントロールされている ◇食事が半分以上摂取できる ◇室内歩行ができる		◇循環動態が安定している ◇創感染・肺炎の兆候がない 創部発赤、腫脹なし、38.5℃以上の発熱がない ◇トイレ、洗面へ歩行ができる	◇創感染。肺炎の兆候がない 創部発赤、腫脹なし、38.5℃以上の発熱がない ドレーン排液に混濁・異臭がない ◇感染予防のための行動がとれる ◇病棟内歩行ができる	
治療・薬剤・処置 (点滴・内服)	心電図モニター・酸素・点滴・尿管がついています 傷口に溜まる液を外に出すためにお腹に管(ドレーン)がついています ドレーンからでる液の量をみて、回診時に管を抜きます 毎食前に血糖測定をおこないます 医師の回診は、毎日おこないます 点滴や酸素は医師の指示によりはずれません 体重測定を毎日行います 肺の機能を鍛え、痰を出しやすくするために深呼吸訓練と吸入を一日3回行います				
検査		レントゲンと採血があります 明日以降は医師の指示に従い、おおむね1日おきに採血や胸部レントゲンをとります。			
活動 安静度	ベッドの上での生活となります。 ベッドを起こして座る練習をしましょう	朝、ベッドサイドに立ち、体重計まで歩きます。 その後はトイレなどに歩いていきます。 点滴の管などがありますので初めて歩かれる時はお知らせください	トイレ・洗面時以外にも、リハビリのため病棟内を歩行してください。 痛みで動けない場合は痛み止めをお渡しします。		検査へ歩いていく事が できます
食事	治療食になります。水分制限が(必要・不要)です ()ml/日 きざみ食から開始し、徐々に普通の硬さのご飯にかわります 食事も治療になります。頑張って食べてください。食事が半分以下の場合、栄養補助ドリンクをのんでいただきます なお、差し入れ等は、医師の許可された方のみになります。(塩分の取りすぎを防ぐため)				
清潔		体拭きをお手伝いします	管がすべて抜けた場合、抜けた翌日からシャワーに入ります。		
排泄	おしっこの管ははいっています。	歩けそうならおしっこの管はずします。その後はトイレ歩行ができます。			
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導 在宅復帰支援計画 総合的な機能評価	担当看護師より手術後の計画についてお話し ます 	手術後から寝たままの生活が続いていて、肺の機能が弱っています。肺炎などを起こさないためにも 動ける範囲でどんどん動いて行きましょう。 痛みが強いときや眠れないときは、医師の指示にてお薬をお渡しします また、不安な点、気になることがあるときは、お知らせください			

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。